

J. シュトラウスⅡ オペレッタ「こうもり」序曲
ベートーヴェン ピアノ協奏曲 第5番 変ホ長調

ドヴォルザーク 交響曲 第9番 ホ短調

「新世界より」 OP. 95

「皇帝」 OP. 73

21

【指揮】藤岡幸夫
【ピアノ】外山啓介

【管弦楽】関西フィルハーモニー管弦楽団

新世紀 世界の

「これがドヴォルザークの書いた音だ！」
藤岡幸夫が求めた

ドヴォルザーク 真実の音「新世界交響曲」
ピアノ界のプリンス 外山啓介が贈る「皇帝」



©SHIN YAMAGISHI

©Yuji Horii

2016 1/9 (土) 2:00pm

A 5,500円 B 4,500円 C 3,000円(消費税込)

ザ・シンフォニーホール

主催/朝日放送 協力/ザ・シンフォニーホール

7/26(日)発売

ご予約

■ザ・シンフォニー チケットセンター

06-6453-2333 [10:00~18:00 (火曜定休)]

- チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード:267-389]
- ローソンチケット 0570-000-407 [Lコード:54284]
- CNプレイガイド 0570-08-9990
- アスク プレイガイド 06-6222-1145
- e+(イープラス) <http://eplus.jp/> (パソコン・携帯)

■ABCぴあ(webで予約・購入)

ABCぴあ 検索

携帯サイトは
こちら▶▶▶

<http://abc-ticket.pia.jp/>

座席選択が可能! 24時間購入できる!
クレジット決済も可能!! メルマガで優先予約をご案内!!
1度登録すると次回予約が簡単!!



お問い合わせ

ABCチケットインフォメーション(朝日放送内) 06-6453-6000
[平日10:00~17:30] ※この番号では、チケットのご予約は承っておりません。

ABCクラシックガイドのホームページ
<http://asahi.co.jp/symphony/>

※未就学児童のご入場はお断りいたします。※出演者、曲目、曲順はやむを得ない事情により一部変更になる場合がございます。予めご了承ください。

藤岡幸夫が求めたドヴォルザーク“真実の音”「新世界交響曲」

21世紀の新世界

ザ・シンフォニーホール新春の風物詩として人気の「21世紀の新世界」。2016年は、前回シリーズ初登場にして、ドラマティックな舞台で観客を魅了したマエストロ・藤岡幸夫さんに再びご登場いただきます。

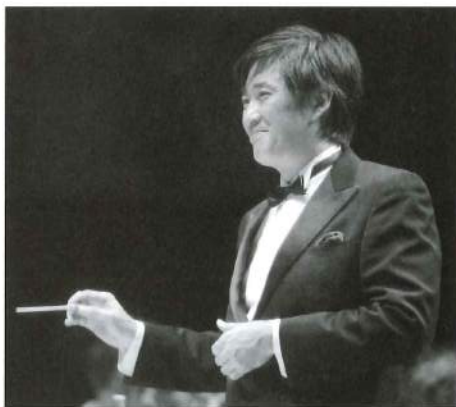
強固な絆で結ばれている藤岡×関西フィルハーモニー管弦楽団の迫力溢れる演奏に期待がもたれます。演奏会の前半には、今や日本を代表するピアノ界のプリンス外山啓介さんをお迎えし、豪華絢爛たるベートーヴェンの「皇帝」をお贈りします。異例のスケールでデビューを果たし、その後ドイツ・ハノーファーで研鑽を積んだ外山啓介さん。本場ドイツで深く培ったベートーヴェンへの畏敬の念を込めて、前進するエネルギーに満ちあふれた演奏でピアノ協奏曲の最高峰に迫ります。

そして後半は、藤岡さんが関西フィルと心を込めてお届けする、ドヴォルザークの「新世界交響曲」。「ドヴォルザークの新世界が出版される時、ドヴォルザークはアメリカにいて校訂はブラームス他の第三者が行い、その際に臨時記号の読み違いや、善意での音の変更が行われてしまった。」(藤岡幸夫ブログ2015/1/8参照)ことを背景に藤岡さんが求めたドヴォルザーク“真実の音”。藤岡幸夫のまさに真・「新世界交響曲」が華やかに新年を飾ります！

[指揮]

藤岡幸夫 関西フィルハーモニー管弦楽団 首席指揮者 Sachio FUJIOKA, conductor

慶応義塾大学、英国王立ノーザン音楽大学指揮科卒業。「サー・チャールズ・グローヴス記念奨学賞」を特例で受賞。1993年BBCフィルの定期演奏会が「タイムズ」紙などで高く評価され、1994年「プロムス」にBBCフィルを指揮してデビュー。以降ロイヤル・フィル、ロイヤル・リヴァプール・フィル等数多くの海外オーケストラに客演。スペインでのオペラ・デビュー公演、2006年スペイン国立オヴィエド歌劇場ブリテン「ねじの回転」



がその年の同劇場新演出作品のベスト・パフォーマンス・オブ・ザ・イヤーに輝き、2009年にR.シュトラウス「ナクソス島のアリアドネ」で再び大成功を収めた。

マンチェスター室内管弦楽団、日本フィルを経て、現在関西フィル首席指揮者。毎年40公演以上を指揮し2016年で17シーズン目となる関西フィルとの一体感溢れる演奏は、常に聴衆を魅了し高い評価を得ている。

テレビ、ラジオへの出演にも広く活躍。2014年10月にスタートしたBSジャパンの番組「エンター・ザ・ミュージック」(毎週火曜23:00~)に企画、指揮・司会として関西フィルと共に出演中。

公式ファンサイト <http://www.fujioka-sachio.com/>

[ピアノ]

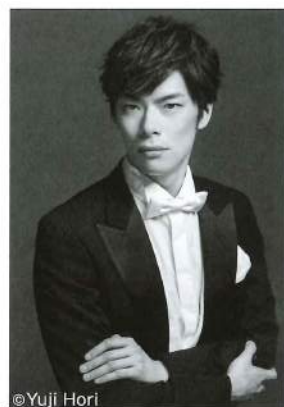
外山啓介 Keisuke Toyama, piano

札幌市出身。2004年、第73回日本音楽コンクール第1位。東京藝術大学卒業後ドイツ(ハノーファー音楽演劇大学)留学を経て、2011年東京藝術大学大学院を修了。

2007年『CHOPIN: HEROIC』でCDデビュー、サントリーホールをはじめ各地で行われたデビュー・リサイタルが完売となる。その後2008年『インプレッションズ』、2009年『ラフマニノフ』、2010年『幻想ポロネーズ』と毎年新作CDを発表し、2011年には初のベスト盤をリリース。2013年のCD『展覧会の絵』は「レコード芸術」誌特選盤に選出された。2015年はオール・ショパン・プログラムの全国リサイタル・ツアーを実施、夏には新譜CDの発売を予定している。

全国各地でのリサイタル・ツアーを毎年実施、主要オーケストラとの共演も多数あり、その繊細で色彩感豊かな独特の音色を持つ演奏は各方面から高い評価を得ている。

外山啓介オフィシャルサイト <http://www.keisuke-toyama.com>



©Yuji Hori

関西フィルハーモニー管弦楽団 Kansai Philharmonic Orchestra

1970年発足。2003年より特定非営利活動法人、2014年より認定NPO法人として生まれ変わり、関西を代表する楽団の一つとして文化・社会への貢献を目指して積極的に活動を続けている。

世界的ヴァイオリニストでもあるオーギュスタン・デュメイは08年より首席客演指揮者を務め、11年より楽団史上初の音楽監督に就任。藤岡幸夫は00年より正指揮者を務め、07年より首席指揮者に就任。飯守泰次郎は01年より常任指揮者を務め、11年桂冠名誉指揮者に就任。

人間の営みから生まれた音楽・・・『ヒューマニズム』をテーマに、聴衆の心に感動と勇気を伝えるべく活動を展開するとともに、地域密着を重視。活動に明確なビジョンを持ち、挑戦し続ける個性派楽団としてますます好評を博している。14年10月よりスタートしたBSジャパンの音楽番組「エンター・ザ・ミュージック」に藤岡幸夫と共に出演中。

オフィシャル・ホームページ <http://www.kansaiphil.jp/> オフィシャル・ブログ <http://blog.livedoor.jp/kansaiphil/>

